

平成31年3月の労働市場の動き

(求人倍率)

- 大阪府の平成31年3月の有効求人倍率(季節調整値)は1.79倍となり、前月と同水準となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.77倍となり、前月より0.25ポイントの低下となった。

(求人・求職の動き)

- 3月の新規求人数(季節調整値)は前月比10.0%減となり、有効求人数(同)は前月比1.5%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比2.1%減となり、有効求職者数(同)は前月比1.3%減となった。
- 3月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると7.5%減となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比0.8%増)、製造業(同3.8%減)、情報通信業(同11.5%減)、運輸業、郵便業(同7.5%減)、卸売業、小売業(同15.4%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同7.1%減)、宿泊業、飲食サービス業(同4.1%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同14.6%減)、教育、学習支援業(同7.1%減)、医療、福祉(同6.7%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同14.2%減)となった。

